

ごあいさつ



和歌山支部長 内原 健

残暑まだまだ厳しい折から、支部会員先生方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は会務運営につきまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

去る5月15日、第29回支部定期総会におきまして支部長に選任されました。

支部長としての業務が殊のほか多岐に渡ることを改めて認識しているところです。

協力いただく新副支部長や幹事、監事の先生方には経験豊富な方々とともに、若手の面々も多く含まれ、今後の支部運営に大いに活躍していただけるものと期待しております。

さて、私たち税理士を取り巻く環境もなお一層大きく変化しております。行政事務の効率化を推進する政府の方針を受けて、新たな局面を迎えた税務支援への対応やe-Tax・eLTAXのさらなる利用促進、書面添付制度や会計参与制度の普及、成年後見制度への取組み等、税務行政との関係を検討しながら進めていかなければならない課題も山積しております。

支部におきましても、これらの諸事情を踏まえながら、会務運営に努力していきたいと思います。

最後になりましたが、支部会員先生方の今後の益々のご健勝とご事業の発展を心からお祈り申し上げます、ご挨拶といたします。



着任のご挨拶



和歌山税務署長 川上 憲二

新秋のみぎり、近畿税理士会和歌山支部の先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素から税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大のご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

私は、この度の定期人事異動により、和歌山税務署長を拝命し、過日着任いたしました。

和歌山税務署は平成7年7月から1年間、酒類指導官として勤務しており、また、昭和51年7月から2年間は海南税務署、昭和62年7月から2年間田辺税務署と、和歌山県下では5年間の勤務をしておりましたので、たいへん懐かしい思いで着任いたしました。

徳川御三家の一つ紀州五十五万五千石の城下町で、歴史と伝統に培われた人情味豊かなこの地に、再び勤務できることは大変光栄であるとともに、県下の要としての職責の重要性を痛感している次第であります。

ところで、昨今の税務行政を取り巻く環境は、経済取引の広域化や経済社会の国際化・高度情報化の進展などにより一層複雑・困難化しており、また、住宅ローン減税やエコカー減税などの生活に関連した税制改正、消費税率引き上げを中心とした税制論議など、国民の皆様の税に対する関心はますます高まっております。

一方で、国家公務員の定員事情は厳しい状況にあり、限られた人的資源・物的資源をいかに最大限に活用していくかが求められております。

このような中、税務行政の執行に携わる私どもとしましては、社会経済情勢の変化に対応しつつ、「納税者サービスの向上」、「適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」に向けて、最善を尽くす所存であります。

現在、税務署においては、納税者サービスの向上

と事務の効率化を図るため、自宅やオフィスから申告・納税ができる「e-Taxの普及拡大」や、署内に総合窓口を設け、申告書、申請書などの受付、税金の納付、納税証明書の請求などを一つの窓口で済ませることのできる「ワンストップサービスの導入」などの各種施策に取り組んでいるところであります。

近畿税理士会和歌山支部におかれましては、「e-Taxの普及拡大」にあたり、関与先への利用勧奨や代理送信に支部を挙げて積極的に取り組んでいただき、和歌山税務署管内の利用率の向上に多大な貢献をしていただいていると聞いております。

今後も、平成25年度の最終目標値（利用率65%）に向けて取り組んでまいりますので、より一層のお力添えをお願いする次第であります。

また、昨年11月から国税に関する一般的な相談については、国税局ごとに電話相談センターを設置し、すべての税務署の電話相談の集中化を実施して

おります。

税理士会の先生方におかれましても、個別の税務相談は必ず署の方に事前予約をして頂くとともに、一般的な相談については自己解決をしていただくことになっておりますので、引き続きご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

今、税務行政は大きな変革の時期にあり、従来にはなかった観点からの施策も多く様々な課題に直面することと思いますが、今後とも貴支部との連携を密にし、先生方のご意見を十分に受け賜りながら、税務行政の円滑な運営に努めてまいりますので、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿税理士会和歌山支部の益々のご発展と会員の先生方のご事業のご繁栄並びにご健勝を心から祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

川上 憲二 和歌山税務署長

前任：大阪国税局課税第二部消費税課長

質問

- ①ご出身地
子供の頃の思い出
- ②入署のきっかけ
- ③今までの仕事で
印象に残ったこと
- ④和歌山についての印象
- ⑤最後に一言

- ①鹿児島県奄美市出身です。
当地同様に山海の恵みが豊富なところで、小学生のころは山に遊びに行き野イチゴを、夏には海に潜ってウニなどを獲っておやつ代わりにしていたことが思い出されます。
- ②受験したのは税務職員である学校の先輩の勧めです。地元の銀行か、公務員かいずれにするか悩んでいましたが伯母の勧めで決めました。
- ③国税庁の教育機関である税務大学校（埼玉県和光市）の教授をしていた2年間、全国から集まった研修生とのゼミや時間外の交流です。
- ④和歌山県下の勤務は5年間あり、内4年間は在任（和歌山市2年間、田辺市2年間）していただいたので大変懐かしい思いがあります。
穏やかな人柄と人情味のある土地柄だと思います。
- ⑤「e-Taxの普及拡大」は、署の最重要課題であり、全力を挙げて取り組んでいきますので、皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

インタビュー



高木 俊継 和歌山税務署 副署長 担当：法人・酒税

前任：大阪国税局調査第一部特別国税調査官



- ①大阪市住吉区生まれです。
近くに住吉大社があり、夏と正月には、毎日行っていた思い出があります。
中学2年生から、堺市の泉北に移りました。
- ②父親が大阪府職員であったこともあり、公務員になりたかったので希望しました。
国家公務員、特に、国税関係はやりがいのある職場と思いました。
- ③大阪国税局の調査部で、特に国際関係を主として調査していたこともあり、英国を始め4ヶ国へ海外出張したことです。
- ④和歌山県は昭和59年に、県下の調査を担当したことがありますが、人情味があって、親切な人が多いと思います。
- ⑤18年ぶりの署での勤務で、わからないことが多いですが、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

緑は青 黄は赤？

齋藤 恒明

交通信号は赤・青・黄の三色と言われるが、私はこのことに疑問を持っていた。赤・黄は分かるが残りの一色は明らかに緑であり、決して青ではない。しかし、あるときその疑問が解けたのである。古来、わが国では色は四色で表現されており、その四色とは黒・青・赤・白である。現在でいう緑はかつて青の範ちゅうにあり、緑をも青と表現したのである。そうした表現は、現在でも緑の葉や緑の森を指して「青々とした葉」とか「青々とした森」などとして使われている。青と緑の関係と同様に使われているのが赤と黄である。秋の紅葉というが、紅葉とは赤く色付くことのみを指すのではなく、黄色に色付くことも含んでいる。すなわち、かつて黄は赤の範ちゅうにあったということである。この四色でお気付きの事と思うが、古墳の壁画に描かれている東西南北を司る四神の色と一致している。つまり北の玄武(亀と蛇の姿)は黒、東の青龍は青、南の朱雀は赤、西の白虎は白で表現されているのである。壁画で有名な奈良県明日香村のキトラ古墳のキトラの由来は、外部から玄武の亀と白虎の虎の壁画が見えていたところから、キ(亀)トラ(虎)と呼ばれたとの説がある。奈良と青の絡みで言えば、奈良にかかる枕詞の「あおによし」は奈良で青い土を産出したからと言われている。余談ながら、相撲は天下泰平・五穀

豊稔を祈る神事が始まりであり、円形の土俵は「曼陀羅」を表し、黒房・青房・赤房・白房は四神を示している。また横綱を「日の下開山」と言うが、開山とは宗派・寺院を創始することを意味し、横綱になることはそうした開祖に匹敵する偉業であることを意味しているのである。そうした伝統ある行事が外国人に席捲されているのは、誠に嘆かわしい次第である。

e-Tax と浦島太郎

石倉 督斗

むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。おじいさんは、内原商店を経営し、毎日よく働き、週末には、山へ芝刈りに行っていました。そして、おばあさんは、おじいさんを手伝いつつ、会計業務を担当していました。

ある日、お代官さまが、内原商店を訪問し、「もう、e-Tax の時代（平成20年度、所得税申告 31.1%、法人税申告 37.7%）ですよ。」と説明して、お帰りになりました。

その事実を伝え聞いたアロチ本舗を経営する石倉おじいさんは、「よし、わしも e-Tax をやるぞ！」と決心して e-Tax をやり始めました。

後日、バイク好きの岡野おじいさんが、石倉おじいさんに尋ねました。

「何故、石倉おじいさんは、e-Tax を始めたので



支部長／内原 健



支部監事／大住文夫



支部監事／森脇敏夫



税務支援対策委員会／瀬藤啓司・古田倫子・額田幸至・西川明伸・西山正記

すか？」

石倉おじいさんは、こう答えました。

- ①「竜宮城で遊んでいる間に、時代が移り変わり、浦島太郎になるところだったよ。」
- ②「お客さんの所へ行って、サイン・ハンコをもらい、税務署へ提出に行く時間の圧縮。ガソリン代・高速代のコストダウンだよ。」
- ③「景気が悪く、売上が減少していくのだから、コ

ストダウンを計るのが経営者だと思うよ。コンピューターメーカーの言いなりになって、高価なコンピューターを買うのは時代錯誤だと思うよ。」

- ④「納税者にとっては、還付期間の短縮のメリットがあるよ。」

それを聞いた岡野おじいさんは、「まったくだ、まったくだ。」と言って、愛車にまたがり、代官所に帰って行きました。

支部行事風景



平成21年1月20日／研修



平成21年4月21日／研修

平成21年5月15日



意見交換会



支部総会



平成21年7月1日／ビデオ研修



総務委員会／桐本洋彰・齋藤恒明・安田厚子



業務対策委員会／上野隆也・宮田幹夫・石倉督斗・堀 博充



厚生委員会／沼崎健一・小西里枝・梅本 厚・山田 賢



広報・綱紀監察委員会／岡野良平・中北茂寛・木村雅彦・永島隆雄

新入会員等紹介 (敬称略)



キムラ タカユキ
木村 尚之
平成21年2月19日
和歌山市蔵小路5番地
西岡義高税理士事務所

ナカシマ ユウイチ
中嶋 雄一 平成21年3月19日



マツイ ヨシノリ
松井 義仁
(粉河支部より転入)
平成21年6月6日
和歌山市黒田87番地の7



ハシモト ヨシヒコ
橋本 義彦
(粉河支部より転入)
平成21年7月30日
和歌山市友田町4丁目25
田中ビル4階403号室

入
会

木下 治 (業務廃止)
平成20年12月25日

小川九十男 (業務廃止)
平成21年2月26日

安部 満子 (業務廃止)
平成21年4月3日

中嶋 源次 (業務廃止)
平成21年4月6日

笹尾 藤晃 (死亡)
平成21年5月21日

河口 進 (業務廃止)
平成21年6月9日

退
会

転
出

中嶋 雄一 (旭支部へ)
平成21年5月14日

会 員 数

平成21年8月20日現在 236名(社)

編 集 後 記

平素は支部活動にご協力いただき、ありがとうございます。

本年度より、内原支部長の元で新体制となり、広報委員会は、木村、岡野、中北で担当させていただくことになりました。至らないところが多いかと思いますが、よろしく願いいたします。

さて、景気の低迷が続き、大阪信用金庫の調査によりますと、夏のボーナスを「支給しない」と回答した企業の割合が43.3% (寸志の支給を含む) にのぼるようで、個人消費の低迷を通じて景気低迷の要因になりそうです。

このような時代においては、顧問先には付加価値の高いサービスを提供して、意思決定のお手伝いをする

ことは重要ではありますが、「やさしさ」をもって日々の業務に励みたいと思います。今、「ころの時代」と言われています。逢えば、顧問先の社長のころが元気になるような税理士になりたいものです。

ところで、衆議院選挙のゆくえはどうなっているのでしょうか？

広報委員 木村、岡野、中北

